夕刊
磐城新聞
三月十九日發行
（日曜祭日翌日休刊）
東京振替一〇八五五六番

天氣豫報 小名濱測候所發表
今晩は南西の風晴
明日は北西の風晴

二た昔前のペン生活

悩める女マリヤよ（大正九年）

赤井嶽男

（上）

朝露しげき樽川の野邊を宛然ミレーの絵に見る如き洋裝の若い農婦が、面差ゆげにも往き交ふ人に顔をそむけ、牛追ふて行く姿を記者は見た

恐らく露西亞人の婦であらう、世は擧げて尼港に於ける殘虐を憩ひ、パルチザンの兇惡を憤つて居る今日此頃、異國に敗殘の露西亞婦人を見し、いと興ある事に覺へた記者は、友M君の家に歸るなりその女の素性を訊ねて見たのであつた。

女、名はマリヤ、この村に住む殘留露人ウオーシップの一人娘で曾てはこれも同じ殘留露人（十耳古人ともいふ）で、大谷に住む其の男ヂャマルデンを聟に迎兩人の中には可愛い一人の男の兒さへ儲けられたのであつたといふ。

——一日の勞働を了へた若き農婦マリヤが、庭前のベンチに腰を下してその愛し子に乳房を哺ませる時、鈴谷の野にうつろひ行く夕雲を遠く眺めながら無心に子のうなじを撫でて深い物思ひに沈む事もあるさうな

これに就て友M君は斯く語つた

父ウオーシップは土黑く醜怪き波蘭なる片田舎の生れ、若くして恐るべき大罪を犯して、サガレンに流謫の身となつた奔放多血な男である。

索寞單調たるカラフトの朝露冷たき濱邊にも、折々はたいけな紅いはまなすの花が咲いて居る、例へば風雨冷たい樺太の濱邊に咲くはまなすのそれの如く悲痛なウオーシップ夫妻の囚人生活に一脈の潤ひを點じて咲き出でたのが眉目秀麗なる小女マリヤであつた。

故國を知らぬ少女マリヤは、溫い兩親の慈愛の下に無事成長し、南樺皇國の領土に歸するや周圍の日本人と接觸して、日本語に堪能なる無邪氣愛すべき一少女となつた。

・マリヤが天稟の麗質は露領當時に於ける人々自然の索寞な樺太に於て如何に周圍の若者の血を湧かしたのであらうか、而も異人種悲しき偏狹な相互の因襲はお互に此れを見る串異端の如く彼これを娶らず此彼を迎へず鰊來り青草萠へ七かまど色づきモロチ殺ぎ自然はその折々に推移すれどマリヤの生活には何等の變化無くして幾つかの幾月は夢の如く流れた。

望富嶽

珠雲 小野務平

千秋不滅玉芙蓉
便是神洲衆嶽宗
端正秀靈人仰皆
萬邦無比一靈峰

3月20日
——
△黑田如水歿す（慶長九）△イプセン生る（一、八二八）△東京府初めて府會を開（明治一二）第六十九特別議會召集並びに會期に關する詔書公布（昭和一一）

3月21日
——
△弘法大師入寂（承和二）賤ヶ岳の激戰（天正一一）高山線開通飛驒國初めて汽車通ず（昭和三）

雜詠

兵衛作

○禁煙を誓ひぬるけはしき眞顔今おかしかり紫烟の中に
○今日も又一人見ぬ亭主を措きて小賢しく振舞ふ女を
○朝寢の床に仔犬眼明きしと聞き眠むさも忘れ起き出でて見ぬ
○臨盆にて親し果て無き母の愛一度知りたき母知らぬ我は

或る風景（三）

古橋梅吉

今識り狂ふ一つの輪。それは絢爛と咲き匂ふ。春の芳芬。舞ひ狂ふ蝶の一群に似る。日本よい國とい ふ譯り、さうだが、精神的にもいたす所があるとかで勝目逢ゐ與にせられた。おりわも角江先生の向ふに蝶然と姸を呈してゐたわけた

美しい！、と敏夫が思ふ瞬間オルガンは曲をかえて蝶の輪は大衆の中へとろけ込んだ。

× ×

空は、而して大地は、もう冬だと敏夫に囁やく、風もなくすつきり澄んで、シッ、シッと大鋸を斷る。鳩の音が爽やかに、そしてあざやかな蔭影を度つばの上に投げて行く。

風がないよ冬でも霞む。敏夫のゐる畑をぼんやりと暖かい、筑波の山は圓やかに美しかつた。西風が吹くと尖る程きつかりして、桑も近くなるのに、今日は春の樣だ。半里四方もあらうかと思はれる耕地に人一人見えない。もう冬蒔り（麥の中耕で冬中に耕す作業）が概ましになつてゐるからだらう。敏夫は、牛蒡を掘つてゐた。まだ四五貫目しか掘つてない

「もう蠶だらう」

講談 髑髏組（どくろぐみ）

（143） 林杢兵衛作 金子士郎畫

幾代の過去（三）

——河岸の喧嘩は忽ちやんで、大水の引いたとのやうに靜まり返つたと思ふと、爆笑の聲さへ聞えて來る。

幾代は、何んだかに急恥かしくなつて、もう其處には居られなかつた。

その日は早く宿へ歸つて寢ゝ心細さに獨りぼつねんと考へ込んだ。

懐の金も、做々殘り少くなつてゐる。それ自身も、つい此頃になつて氣がついた事であるが、どうやら懐姙らしい身體の變化。焦る事は居られない。刑部此の有樣では、いつ逢へるやら。

そうだとすれば、何處かで自活の道をたて、やがて生れて來る子供のために用意しなければならない。幾代だつた。

愈々、切端詰つて、幾代は宿の亭主に事情を話し、適當な奉行口を探し、貰ふことにした。そのかたわらに自分もまた、何軒かの口入屋を歩いて見たが、身重と聞いては、何處も頭を横に振つて雇つて呉れない。

そのうちに、月日は從らに過ぎて、來るべく遂に來た臨月、其の頃には、宿の拂ひもかなりの金かさになつて溜つてゐた。だが、宿の亭主は親切だつた。よく面倒もみ、世話もしてくれた。そうして幾代は、無事にその借り受けた部屋で亭主夫婦の溫かい介添へで安らかなお産についた。

生れた子は、丸々と肥へ太つた玉のやうな男の子。

（刑部の幼ない時も、屹度此の子のやうだつたに違ひない）

と、思はれる位生寫しの、そうして眼は母親によく似い、美しく澄んで、生れながら才發を物語つてゐた可愛い赤ン坊。幾代はこの子に彌太郎の假りの名をつけた。

ところが、人の幸不幸は紙一重、ずの運命を組んで訪れるもの。

刑部と別れて以來、けなげにも今日まで、日として精神休まる日がなしまでに苦勞を重ね、憔悴して來た故か、悲しくも赤ン坊に與へる肝腎な乳が出ない。

乳はあつても、族の姿の弱い女手一つで滿足に蒸しみ育てる事が出來るだらうかと怪しまれるのに、まして乳の出ない母親に、どうしてそれが出來得やう。強いて育てやうとすれば貰ひ乳の掛へ難い氣兼ねを忍ばねばならない、それも腹を痛めた可愛い子のために忍ぶとしても、その貰ひ乳が果して何時まで續くか、生れながらにして乏しい思ひをさせるより、一層思ひ切つて里子に出すか。それには相當の金が要る。

考へて見れば、貰ひ乳の慘めさにも堪へられなく、里子に出すにも金がない。それに幾代は、まづ何よりも先に働き口を求めなければならない身の上。何れにしても自分の手で、赤ン坊を育てることは不可能であつた。

幾代は、產後の靜養もまだ充分でない身で、可哀想に彌太郎を抱へ、寒風吹き荒ぶ江戶の街々を、子供が欲しいと云ふ親切な貰ひ手を探し求めて、あてどなくほつゝき廻つた。

けふも一日、步き疲れて立ち寄つたのは、神田明神の社前。幾代は暫くその社前に額付いて、彌太郎のために行く末の多幸を只管祈つた。

そうして後、不圖考へついたのは、何も知らずに、すやすやと無心に寢入つてゐる彌太郎を捨てること。

生徒募集

願書受附 三月三十日迄

1 本科（二ケ年卒業）一年百九十名
2 裁縫專修科（二ケ年卒業）一年百名
3 師範科（一ケ年卒業）二十名
4 專攻科（一ケ年卒業）三十名
5 本科裁縫專修科三年補缺入學若干名
6 〔附設〕洋裁科（六ケ月修了）若干名

◎詳細ハ學則請求ノコト

文部大臣認可 藤田女學校 平市田町（電三一八番）

可愛ラシイお子樣ノ方ノ新御入學ガ
◇近ヅキマシタ◇
學生鞄學生帽子
御用意ハ何卒弊店へ

ランドセル 1.30 …… 5.80
手提鞄 98 …… 3.80

ランドセル●大特價奉仕品 品番號No.213 200錢
通學用男女帽子豐富陳列
ツルヤ 電一四〇

和洋 建具 家具 テーブル 椅子 其他裝飾品一般
御用命は迅速に御勞め致します。
製作販賣
諸官衙 各學校 御用達
平市五丁目四
片寄製作店
片寄小彌太 電話四八四番
十五、六歲以上の見習徒弟募集 御希望の方は至急申込下さい。

國民精神總動員……
日本國民・必見の書……
內閣情報部發行
寫眞週報
（1部10セン）
…お取次致して居ります…
（平2） 西村藥局 （電3）

ベークライト職工見習募集

一、募集人員三十名
一、年齡十四歲以上二十歲迄ノ男子
一、待遇
十四歲—十六歲日給七十五錢
十七歲—十八歲 八十錢
十九歲—二十歲 一圓
一、技術修得ト共ニ漸次昇給ス
一、寄宿舍ノ設備アリ、賄料ハ實費トス
一、申込所 平市職業紹介所
詳細ハ、ミクニ工業所若クハ平職業紹介所ニ問合ハセラレタシ
東京市大森區大森町入新井町七丁目二六二
ミクニ工業所 電話大森六九〇九番

銘木（床ノ間材）
天井板、ベニヤ板買ふなら
確かに御期待に添ふ良品廉價の
織田材木商店へ
福島縣平市 電話平四六〇番
一寸見せる勉強振りを、せひ一度お試を乞ふ
營業種目 建築木材一式 銘木・ベニヤ板 秋田產杉四分板 建具材・便利瓦

大衆食堂
私は平市出身ですから特に郷里の皆樣方の爲めに御便宜を圖ります
主人 比佐棟雄
電話下谷(83)六七七番
東京上野驛前 下谷郵便局横通角

一般貨物運搬
迅速低廉に御取扱ひ致します。
福好工業合資會社
代表者 强口唯七郎
自動車部 電話二八二番
砂利、砂の御用命に對しては特に廉價にて御供給致します。

お醬油は……ヤマフル
鹽屋
山崎合名會社
福島縣平市
電話（營業部一〇番 本店二七番）
味噌醬油 [illegible]正宗 鰹節食料品
明治生命磐城代理店 山崎與三郎

夜間 診療
胃腸 性病 專門
內科 胃腸病科 花柳病科 性病科 皮膚科
（見習看護婦募集）
松村胃腸性病科醫院
（平市南町電一〇七番）

精神病科 腦脊髓病科 神經病科
內務省指定
福島縣立代用精神病院
郡山腦病院
郡山市外大槻村針生 電話九二五番
院長醫學士 金森五郎
入院隨時
郡山驛より約三十丁 安積中學より約五丁

眼鏡
ホガネは正確にして廉價
最新式レンズ 各國製
當店に取揃へて御座います
（亂視用眼鏡即時調製）
根本時計店
平市二丁目 電話六七〇

外科（內臟外科及一般外科）
X光線科、花柳病
內科、小兒科
院長 前田清美
岩手醫學士 萬波勳
（自炊ノ便アリ 病室完備）
前田醫院
田町本町 電話一二四番

上野、平間を三時間で 吹つ飛ぶ臨時列車運轉 惠まる地方旅行者

超高速度時代

春の團体輸送は今年は團体割引が中止で閑散であるが例年の通り臨時列車は左の如く運轉する

〔常磐線廻り上野青森間急行〕下り一二〇一列車（上野發午後六時五十分、平着午後十時二分發十時八分　青森着午前七時廿八分）三月十九日から四月末日まで△同上り一二〇二列車（青森發午後十時十五分　平着午前七時二十二分發七時二十八分、上野着翌午前十時十五分）廿日から五月一日まで

〔常磐線廻り上野仙台間〕下り二〇五列車（上野發午後十時三十五分、平着午前二時十四分發二時五十分、仙台着翌午前六時七分）上り二〇六列車（仙台發午後十時卅七分、平着午前二時十五分發二時二十分、上野着午前六時十二分）共に十九日及び廿六日から四月十七日まで

龍虎相搏の接戰に 非常時意識强調 あす郡下武道大會

市武道奬勵會主催の郡下武道大會は明二十日の日曜をトし午前九時から平第一校（劍道）平商（柔道、弓道）の兩會場に於て選手整列、開辭（長島劍道會長）國旗掲揚、國歌齊唱、皇太神宮遙拜、皇居遙拜、出征將兵武運長久祈願默禱、審判長（劍道鈴木忠正、柔道橋本芳太郎、弓道柏原秀臧）挨拶の順序で擧式―つて約五百名の選手によつて壯絶な制霸戰が展開され、壯じ時局柄一層の盛況を豫想される。因に當日は大日本武道會に於ける弓道の權威大平射佛氏も參列すると

町内の施設完備や 入港漁船に「水」 市制前の新豫算成る

みなと小名濱

躍進小名濱の新豫算は十八日の町會で可決されたが（經常部）二七三六六六圓（特別會計）二四八六七一圓

この合計五十二萬二千三百三十七圓で同町が昭和十七年度に市制實施を目指しての第二年目の豫算だけに新味たつぷり、經常部の主なるものは

農業道路新設五、五〇〇圓　塵芥燒却費六〇、〇〇〇圓　共同墓地二二、〇〇〇圓　小學校十六學級增設八〇、〇一六圓　事業費九〇〇〇圓

特別會計の二十四萬八千六百七十一圓は水道敷設費でその工事費二十萬七千八百圓、取入口を渡邊村上釜戸に、淨水池並に沈澱池玉川村富岡にと當初計劃に基いて愈よ實現の運びに至つたもので遅くも今年十二月頃には幹線區域の給水を開始する手筈になつてゐる　更に從來その施設がなく不便を來してゐた『臨港水道』も敷設、入港の漁船に對する給水に萬遺憾なきを期するなど『みなと小名濱』はいよいよ名實ともに輝かしい進展振りを見せてゐるのだ

防空演習講評

平市では過般行はれた防空訓練の講評會を二十二日午前十時から市會議事堂に開き

市内防護團の正副團長、警報班、同主任調査員等を招いて上司の講評を傳達、體驗談によつて將來の防空に資する

法被の香も床しく 平署管内春の消防檢閲

紺ハツピの香も床しく平の春を彩る平署管内の消防組合檢閲は此程開かれた組頭會で例年通り花も盛りの來月二十日前後磐中グラウンドで行はれる

神谷駐在巡査はこの檢閲に際し同村小學校消防組に金馬簾一條の下附方を本署を通じ縣に具申した

。。。。。白衣の勇士凱旋。。。。。　神谷村出身一等兵木村信良君は友邦滿洲國の治安維持に當つてゐたが負傷、十八日懷しの地に白衣の凱旋をした

。。。。。團部君凱旋。。。。。　市内四丁目團部清三君は今次事變に應召中の處歸還を命ぜられ十九日午後六時の汽車で懷しの郷里へ歸つた

貨車の新造計畫進み 地方炭界の前途明朗 今上旬も例により全面的增送

去る一日以降十日迄の間に於ける常磐炭鐵道發送統計が纏つた、之によると營業用五、五〇四車六六、九四三廻　鐵道用一、五〇三車一九、八六九廻　合計七、〇〇七車八六、八一二廻で前年同期に比し增差（營業用）七二七車八、〇九九廻　鐵道用二六車減差二三六廻差引七百六十六車七千八百六十三廻の全面的增加を示してゐる、斯の如き情勢の下に最近の軍需工業を中心とする石炭需要の增大傾向は冬期の季節的需要增と相俟つて石炭飢餓の狀態を示現してゐるが更に來るべき九月以後の需要期對策の樹立こそ今後の急務とされ配車の圓滑緩和方に就ては少からず關係筋の關心を喚つてゐる折柄かゝる狀勢に鑑み最近鐵道省ではいよいよ明年度において貨車八千臺を新造し物資輸送の圓滑を期することとなり諸般の準備を開始したので、これが具体的進行如何によつては石炭輸送力は著しく增大するものと豫想されるに至り炭業界はこれによつて需給の期待を寄せてゐる

磐崎助役再た辭表提出

磐崎村助役酒井賢吾氏は今年一月一身上の都合を理由に辭表を提出し村長が留任勸告中であつたが辭意固く再び十六日辭表を出した、今後の推移を注目されてゐる

約七十名增 磐中志望者現在

明二十日の締切りを前に磐中は前年より實に六十八名を激增して四百六十名に平商は之と反對に二百二十七名で前年に及ばざる事二十二名である

。。。。。竹原司令官講演。。。。。　竹原縣聯隊區司令官は既報の如く二十一日擧行される湯本町國防婦人會結成式に臨むので町では四日午後一時から小學校で時局講演會を開く

これは素晴らしい 五年後に十二萬貫 郡下の鷄卵生產計劃

郡下の養鷄業は種類施設の改善等によつて逐年盛んになつて居り郡市別に見るその成績は斷然縣下の首位を占めてゐる程であるが今度縣養鷄組合聯合會では十三年度から五ケ年計劃によつて百五十萬羽飼養、鷄卵年產額百八十萬圓の大增產計劃をたて計劃完成後に於ける縣下郡市別の豫定額を發表した、それによる本郡下（平市も含む）の鷄卵生產高は十二萬五千貫、この金額實に二十萬圓で斷然縣下の最高位で今後の成績を期待されてゐる

海の雛鷲 地方から四君合格

海軍甲種飛行豫科練習生は既報市内堂の前吉田律四郎六間門片寄藤次の兩君の外左記二君も合格した

小名濱町佐藤孝司、好間村佐藤正

中川教頭葬儀 けふ濕やかに執行

磐女教頭中川完一氏は過般來健康勝れず靜養中であつたが極めて細心の攝養も其の効無く一昨十七日午前四時永眠葬儀は今十九日午後三時市内八幡小路の自宅出棺明賢寺に於て佛式により執行したが會葬多數盛儀であつた

氏は福井市出身、大正五年東京高師卒業、茨城、群馬、宮城、新潟各縣を歴任大正十四年仙台市視學より磐女に轉任櫻井、木村、現正木の三校長の下に教頭として地方女子教育界に貢献した人、襲に令室の長逝あり、同情翕然として信一君以下の遺孤に注がれて居る、享年四十九

戰傷將兵慰問 東京班歸る 元氣な近狀を齎す

既報。平市議の郷土出身戰傷兵慰問團

矢吹(初)鈴木(彌)高橋、酒井、川崎、吉田(五)大嶺、關内、吉村、佐藤、永山、萩原、蓮沼

の一行十三名は十五日午前十時上野驛集合、十一時二十分世田ケ谷東京陸軍第二病院を訪ひ、中佐、少佐、大尉の各軍醫から感謝の辭を市民への謝意傳言方を受けた上、看護長に導かれて市出身永野孝夫君を慰問、更に同君の案內で市內幕の內出身寺島榮治、長橋町松本與三郎兩君に會ひ夫々慰問の辭を述べて辭去零時半澁谷驛に於て解散、十八日午前十時蓮沼副議長が澁谷赤十字病院に入山出身の青野爾夫少尉を、同日午後一時千葉陸軍病院本院に堂の前出身畑中繁太郎君を訪ね慰問の上昨夜歸市したが一同大元氣で銃後の好意に感激してゐたと

陣中を聽く (114)
子供迄專制を怨む 地に書く心境の文字

內鄉村小島出身　坂本義果君（通信）（四）

それから孔子廟とは反對の方面復聖殿をも參詣致しました。建築美から云ひますと此所は本當に支那式美です。美しさ綺麗さは到底孔子廟以上です。此所は弟子顏子が大きな御堂にポツンと祀られて居りました。

それから斯う云ふ話があります。孔子の末孫孔德成が南京政府軍に監禁されてからは此所の住民は黨軍の專制を大變恨むでゐるさうです。小生らの宿舍に十五歲になる張と云ふ少年が居りますが、此の張少年が孔德成が創立した聖賢學校に入つて居て實際に教を受けたとかでこの學校の先生の大半は河北省人で親日派傾向が多かつたので孔德成が拉致されたとその少年が云つて居ります。此所の住民は神父と崇められてゐる丈け孔德成が自動車に連れて行かれるのを見て泣いて送つたのも事實でせう。此邊の子供達に、南京政府軍隊を如何に思つてゐるかと聞くと『恨蔣軍之專政』とか『痛恨聯俄容共、和儕邦開戰』など地面に大きな字で書くのでした（二月二十一日）

鄉黨の賜

市内大工町出身　渡邊豐君

戰地の空も日毎に春めき候折柄（略）お蔭樣にて上陸以來大過無く軍務に精勵致し居り是も偏に鄉黨各位の御庇護の賜と存じ候。遙かに御厚禮申上ぐる次第に有之候、目下は上海を距る〇〇〇里の地點〇〇地に宿營警備に當り居り候、今後共一層努力を捧げ必ず御期待に添ふやう奮闘致す覺悟に御座候（二月二十四日）

佳節の歡喜

市内立町出身　橘　一君

河北、山西と二省に亙り石家莊、陽泉、太原と轉戰なし一月十二日石家莊を去つて山東の門戶たる靑島に上陸し、濟南間の膠濟鐵路の復舊修理に不眠不休の努力の[illegible]力をなし功酬いられて二月十一日紀元の佳節には第一列車運轉の運びとなり、我が〇〇部隊將士の喜びは非常なものでした十八日には早くも轉進の命を受く山東を後に再度山西の〇〇線に向ひました。

。。。。。磐崎信組役員改選。。。。。　磐崎村信用組合專務理事石川虎之助氏は今度組合長に選任され、選任し酒井嘉七氏決定、十六日事務引繼きを行つた

。。。。。錦駐在所移轉。。。。。　植田署管内錦村巡査駐在所は此程同村大字大倉字上川原一八の二に移轉

。。。。。農事實組結成。。。。。　產業組合法によつて神谷村に今度左の農事實行組合が結成された

神谷村上神谷上二組同達山、同鎌倉入組

。。。。。遺骨通過。。。。。　前線に散つた相馬郡磯部村出身海老原上等兵の遺骨は十九日午後一時十八分發下り列車で平驛を通過

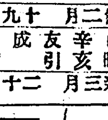
。。。。。湯本信組役員會。。。。。　湯本町信用組合では十六日町役場に役員會を開き低利資金借入に關して協議

。。。。。海工等級廢止陳情。。。。。　豊間村海產加工組合では鰯類刺、丸干檢査の等級を廢止して欲しいと十五日遠藤組合長から縣知事に陳情

。。。。。臨時出納檢査。。。。。　平市では二十一日臨時出納檢査を執行

二十日（小名濱測候所發表）

	滿潮 前	滿潮 後	干潮 前	干潮 後
二十日	六、二〇	七、三五	〇、三〇	―
二十一日	六、三〇	八、一五	〇、四五	一、二〇
二十日	七、〇〇	七、二〇	一、一五	二、三〇



舊二月十九日
日曜　辛亥　友引　成　鈴宿
新三月二十日

諸判定應需　東京市本郷區湯島四丁目　高島易斷總本部　神誠館

▲一白　不滿なおさへ逆らはず今日一日の安きを謀れ▲二黑　此れといふ氣苦勞もなく平和のうちに進む日▲三碧　さ利は無くともじん常に働けば相當に伸長す▲四綠　終りの全からざる日無謀念心はつゝしみの第一▲五黃　虛榮心を去り實利一方にかたむきて勵むべき日▲六白　込み入りたる事を生じ思ふ樣に行かざる日▲七赤　心忙しく後ろから火に追駆けらるゝ如き日▲八白　願望の叶ふ日努力が肝要名弘開店移轉等吉▲九紫　迷ふことなく所信に向つて徐々に進むべし

廿一日（舊二月廿日）

▲一白　他人の言を妄信するときは意外の失敗あり▲二黑　目上の者と意見の合ざる事の生じ易き日▲三碧　誠意事に當らば意外の援助を得て愉ある日▲四綠　運氣開發に向ふべき日徐ろに行動するが吉▲五黃　目前の感情に驅られて衝突し易し注意の日▲六白　引込み思案をせず秩序正しく進むに利あり▲七赤　身の分限を守り進退時を以てすれば吉を得▲八白　一小事の爲めに進路を誤る勿れ進みて吉し▲九紫　悲運も志一つにて一轉して吉に向ふべき日

廿二日（舊二月廿一日）

▲一白　人の爲めに努して却て怨みを受くる注意日▲二黑　しやかう心を去り何事にも誠意を以て進むべし▲三碧　正道に依り進まば何事も我を妨ぐるを得ず▲四綠　烈害の甲ひ難しからず意外の收益を得べし▲五黃　運氣さかんなるが如く見えても種の授がらぬ日▲六白　健康に努めば大吉ふはくの行動は大凶なる日▲七赤　草木の根がめを出し追々と成長する如き日▲八白　平凡に流るゝとも無事なるを結ぶ日とすべし▲九紫　幸運なる日にて求めぬ利得まで入込むべし

スガノヤの雛人形

東都流行の人形各種豊富に取揃へ陳列致しました。是非御出下さい、御待ち致して居ります。

平市四丁目　スガノヤ提灯店　電話九五番

成田山開基一千年祭 武運長久祈願 大護摩修行團體募集

一、期日　四月三日（日曜日）午前七時四十八分發（六時半迄平驛集合）四日午前十時頃成田町ニ於テ解散

一、會費　金八圓五拾錢也　但、片道汽車賃、車中辨當及茶菓子代、成田宿泊料及茶代諸祝儀、大護摩修行諸費、箱札料、坊入料及席上諸祝儀　宗吾靈堂大護摩修行諸費、但、成田、宗吾間ノ電車賃ハ御自辨ノコト、其ノ他解散迄ノ諸費一切ヲ含ム

一、申込期限三月三十日迄會費御持參ノ上御申込ノコト

昭和十三年三月吉日　平市大新榮講　講元　井上貞治郎　五町目（電話六六番）

◎御入學も差迫りました　中等教科書　辭書・參考書　國定教科書　全科・自習書　ランドセル・手提・カバン・各種　友

新學期の御用意は マルトモで

◎御入學・御進級・御卒業記念に　パイロツト萬年筆・エリオツト萬年筆　シャープペンシル・アルバム類　を御推奬いたします

平市四丁目　電話 一二四番 二三四番

三十三回 生徒募集

非常時日本の女性に!!!

婦人の職業として、家庭の衛生學として產婆看護婦をお奬め致します。それには成績の最もよいと定評ある………平南町　產婆看護婦學校へ！

△申込みは成るべく早く
△新學期の開始は四月八日より

平產婆看護婦學校　校長　清野キヨ（電話 三〇七番）